

鳥獣被害の減少にむけて

要約

正確な知識の啓発のため、地域の指導的な立場にある市町村担当者への講習を行うとともに集落講習会、現地調査、パンフレット配布等を実施し、鳥獣被害の低減につなげる。

現状(背景)と課題

- ・鳥獣被害は防止柵の設置等が効果を上げて直近の4年間は減少しているもののまだまだ面積及び金額ともに多い
- 被害面積 240ha (H25)
- 被害金額 1.4 億円 (H25)



目標

- ・被害面積の減少
- 被害面積 : 230ha (H26)
- 被害金額の減少
- 被害金額 : 1.3 億円 (H26)

活動内容

- ・「市町村・地域リーダー」(15名)に対して鳥獣害対策の進め方についての研修を実施。
- ・パンフレットを作成・配布。
- ・管内の多くの方に、鳥獣害対策の正確な知識を習得していただくためのセミナー(71名)の開催。
- ・下市町新住地区で、現地調査(集落点検)2回、講習会(30名)を開催。
- ・イノシシやシカの習性等を観察するため、カメラを設置(2カ所)。

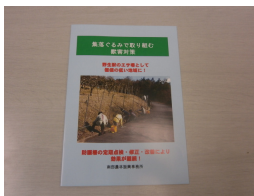
成果

平成27年度実績 (H26被害調査結果) : 被害面積 : 219ha、被害金額 : 1.26 億円

- ・市町村担当者等に対して、地域ぐるみで取り組み、獣害対策の進め方やその重要性、具体的な対策等について説明し、正確な知識の啓発を行うことができた。
- ・パンフレット「集落ぐるみで取り組む獣害対策」を作成し、講習会の際配布し、鳥獣害対策の正しい知識の啓発を図った。
- ・地域での講習や現地調査・指導等を実施し、知識を高めてもらうことができた。
- ・五條吉野農業推進協議会と協賛し、セミナーを開催し、多くの方に、獣害対策の正確な知識を習得していただいたとともに、先進地域のその取り組みや考え方を学んでいただくことができた。
- ・地域住民に対して、獣の生態や特徴、獣害対策の進め方、実際の対策について講習し、獣害対策の意識を高めることができた。
- ・野生獣を監視カメラで観察し、その習性を再認識することができた。



五條吉野地域「農作物等野生鳥獣被害対策セミナー」



作成したパンフレット



監視カメラの映像



○下市町新住地区の講習会



現地調査

南部農林振興事務所 農業普及課
担当：農産物ブランド推進係 笈田・廣野
総合的鳥獣害対策推進事業

普及活動のポイント

- 鳥獣害対策については、管内のすべての市町村の課題となっており、今後とも継続した指導は必要。
- 農業水産振興課の協力も得てパンフレットを作成しとことで、管内市町村等でも活用していただき、より多くの人に正確な知識の啓発を効率的に進めていくことで、今後の鳥獣被害の低減につなげた。

対象の変化

- 獣害対策は、地域ぐるみで取り組んでいくことが重要であることを認識した。
- 鳥獣害対策セミナーや講習会等を継続することで正確な知識を習得した人が増えてきた。

対象者からのコメント

- 講習会やセミナーをとおして、地域ぐるみの獣害対策体制の必要性を再認識したとともに、現体制を改善していく必要があると感じた。
- イノシシ・シカの生態やその対策のポイントについてよく理解できた。
- データや具体的な事例に基づいた話で非常に参考になることが多かった。
- 地域振興のツールとして鳥獣害対策・獣肉の資源化に取り組むことが必要だと感じた。
- 補助事業にすぐ飛びつくのではなく、十分地域で考え取り組むことが必要であると感じた。

これからの活動ビジョン

- 今後とも正確な知識を多くの方々に習得していただくよう講習会や現地調査を実施し、関係機関と連携し継続的した取り組みを行う必要がある。
- 指導したい内容をしぼり啓発していけるよう、新たにパンフレットを作成し、管内市町村等でも活用していただき、より多くの人に正確な知識の啓発を効率的に進めていき、今後の鳥獣被害の低減につなげていきたい。

活動体制

